

社会福祉法人 東京有隣会

有隣

YURIN

2023.1

(令和5年)



理事長からのご挨拶



社会福祉法人
東京有隣会
理事長 奥 典之

新年、あけましておめでとう御座います。

令和5年の年頭に当たり、ご挨拶申し上げます。

昨年は、ひき続くコロナ禍の中、皆様には大変なご不安をおかけいたしました。なんとかこれを乗り越え、予断を許さない状況ではありますが、こうして新年を迎えることができたことに対し、皆様のご尽力に、改めて感謝申し上げます。

東京西部地区の福祉の一拠点として、地域の信頼を得て活動を続けてきた東京有隣会が、2024年新棟の竣工後の2025年に創立100周年を迎えます。

今まで以上に、時代の要請に応え、地域福祉の未来に貢献する法人としての活動ができるよう、その準備をしっかりと進めていきます。

本年はその基盤づくりの極めて重要な年であります。全職員、心を合わせ、一丸となって前進できることを、心から願って、新年の挨拶とします。

有隣病院

◇ 新棟建設経過報告 ◇

今までの有隣病院



入口スロープだけが残っている



建物がほとんど解体された敷地

本格的に工事が始まり、あっという間に有隣病院の建物が解体されました。

新年おめでとうございます。本年が皆様にとって良い年になるよう心から祈願いたします。

一方、皆様の多くの方々にとって社会・経済・生活不安あるいは戦争・争いの拡大に不安な思いを馳せる世情の新年の出發かと思えます。

その中ではありますが、東京有隣会では新しい構想のもと新病棟建設工事が走り始めました。

一般・療養医療は従来通り、リハビリにも力を入れ、地域・介護密着また、他病院・諸機関との連携や健康診断機能の強化を目指します。コロナ感染症が終息しない現状では引き続き院内感染防止、ワクチン接種、抗コロナ治療薬投与普及にも力を傾注します。また、今後何よりも職員一同、地域の皆様方にお役に立つ医療機関とすべく一層の努力を重ねてゆくことをお誓い申し上げます。

院長 工藤 宏一郎



新年のご挨拶

新年明けましておめでとうございませう。私は、国立病院機構に入職後6施設で勤務し、最後の施設は、小田急沿線に最寄り駅がある神奈川病院でした。もとより地域医療に携わりたい思いがあり、世田谷区民となってから十数年が経ちましたが、昨年の4月より同区内の有隣病院で務めさせていただくこととなり大変嬉しく思っております。

有隣病院は、現在老朽化した隣接する第2有隣ホームと共に令和6年夏の完成を目指し新病院の建築中です。地域の皆様のご理解とご協力に感謝申し上げます。

看護部の理念である「人と人の心を大切に」を実現する為、笑顔忘れず、温かい思いやりのある看護・介護を職員一丸となって提供できるよう努力してまいります。今後ともよろしくお願ひ致します。

看護部長 岡田悦子



ボツリヌス療法・装具外来開設のお知らせ

1月10日(火)から毎週火曜日午前完全予約制でボツリヌス療法【ボツリヌス菌が作り出すボツリヌス毒素と呼ばれるタンパク質を有効成分とする薬を筋肉内に注射し痙縮の改善を図る治療法です。】・装具外来の診療をすることになりましたのでお知らせいたします。詳細については、お問合せ下さい。 ☎ 03-3482-3611 外来

それぞれの施設で新年会

第2有隣ホーム

2023年が始まりました！
月日が経つのが本当に早いと感じる今日この頃です。第2有隣ホームのお正月は今年も書初めから始まります。新しい年の始まりを感じつつ皆様楽しみに書いておられました。お祝い膳や甘酒なども召し上がって頂きゆつくりとお正月の時間を過ごして頂きました。獅子舞踊りはびっくりりされてしまいましたね…。



12月25日(日)クリスマス会の様子。職員がデコレーションケーキを作成してご利用者へ振舞いました。
※実際に召し上がって頂いたケーキはプロに作ってもらったものです。皆様大変喜んで下さいました。



有隣ケアセンター

新年あけましておめでとうございます。
有隣ケアセンターでは、12月のクリスマス会に続いて、1月4日、5日に新春会を開催しました。恒例の獅子舞で皆様の健康を祈念し、職員手作りの「おみくじ付きすごろく」では今年の運勢を楽しく占いました。初釜では「お抹茶なんて、懐かしくて嬉しいわ」と喜んでくださる方が多く、大盛況でした。本年も皆様から「有隣ケアセンターを選んでよかった」と思っていただけのように、職員一同邁進してまいります。



それぞれの施設で新年会



有隣ホーム 施設長
細谷 洋

新年あけましておめでとございます。

この度有隣ホームの施設長に就任いたしました「細谷 洋（ホソヤ ヒロシ）」と申します。20代から高齢者福祉の現場にお世話になり25年の月日が経ちました。今回、このような大役を仰せつかり身の引き締まる思いであります。今後は有隣ホーム入所者の皆様のため、より充実したサービスを提供できますよう職員と共に力を尽くして参ります。地域の人々に支えられ、地域に貢献できる施設であるよう誠心誠意努めさせていただきますので、今後変わらぬご指導ご鞭撻の程お願い申し上げます。

昨年は新型コロナウイルス感染症に翻弄された一年でした。

そのような状況も、有隣ホームに関わる全ての方々の理解と協力のおかげで、大きな波を乗り越えることが出来ました。本当にありがとうございます。

さて、コロナ禍ではありましたが行事やホームの飾り、食事などで入居者の皆様に「季節」を楽しんでもらっています。一部ですが紹介させていただきます。

11月にはホームの栄養士企画「パン作り」では、沢山のベテラン主婦の顔を見ることが出来ました。

12月にはクリスマスツリーを飾り、1月には今年も有隣神社が登場しています。



ホームの壁もにぎやかになっていきます。お節料理のお品書きには、栄養士手作りの水引もついており、好評でした。本年もスタッフ一丸となり、入居者様が『安心』して生活が出来る場を作っていきたいと考えています。見守り下さい。

防災イベントのお知らせ

訓練は毎年重ね、いざという時に「自助・共助」ができるまちづくりを実現していきます。船の皆さまと仲良くなっていただき「安全安心」一緒に創り上げましょう！

予色 船橋会 防災体験ラリー

令和5年3月11日(土) 14:00~16:00
午前中には、安否確認訓練も実施します。
引き続き、皆さまのご協力ご参加をよろしくお願い致します！

船橋会広報誌 ふなばし
第41号-1より転載



～ 3.11 防災ラリー (仮称) ～

◆ 有隣会も参加 ◆

地域と共に

3月11日という誰にとっても忘れられない日に、あらためて命の尊さ、災害の教訓と備えをみんなで考える、そんな一日になるよう、コロナ禍において開催を見合わせておりました船橋会（自治会）主催防災イベントに有隣会も参加します。

開催日時：3月11日（土）